

第四十回企画展

# 収蔵民具を楽しむ — 亀山市域の昔話から —

会期 令和五年

四月二十九日(土) ▼ 六月十一日(日)

午前九時〜午後五時 (入館は午後四時三十分まで)

休館 火曜日

主催 亀山市歴史博物館 会場 企画展示室

無料観覧

関連事業 企画展講座

「市域に伝わる昔話を分析する」  
詳しくは裏面を御覧ください



〒519-0151 三重県亀山市若山町 7-30

電話 0595-83-3000

HP <http://kameyamarekihaku.jp/>

亀山市歴史博物館



## 第40回企画展

# 収蔵民具を楽しむ

## — 亀山市域の昔話から —



亀山市内の小学校一年生の国語科では、三学期に「たぬきの糸車」（作きしなみ 絵むらかみゆたか）という授業が行われています。この授業では、糸車と狸の行動が描かれています。例えば「糸車がキークルクルとまわるにつれて、二つの目玉もくるりくるりとまわりました」という一文があります。糸車の回転音がなぜキークルクルなのか、またなぜ狸は目を回すのかという事態を、歴史博物館の「歴博貸出ユニット」の糸車や附随道具を利用して、各小学校の授業では、体験しながらその理由を明らかにしています。

これは、別の見方をすれば、昔の民具（生活用具）を、こうした昔話を通じて知る機会となることを意味しています。

そこで、この企画展では、市域に伝わる昔話を拠り所として、亀山市歴史博物館が収蔵している民具を選び、その民具にはどんな特徴が有るのかや、どんな昔話やシーンで登場するのか等を確認しながら、実物の民具を味わい楽しもうという展示です。

拠り所とした昔話の本は、亀山市在住で、児童文学の創作や朗読等で活躍されてきました久野陽子さんの著書『鈴鹿の関の昔ばなし』（平成2年6月 光出版印刷株式会社）、『伊勢の亀山昔ばなし』（平成6年10月 光出版印刷株式会社）、関町教育委員会『関町昔語』（平成元年9月再版 オリエンタル印刷）の三冊です。

### 【関連事業】

#### 企画展講座「市域に伝わる昔話を分析する」

開講日 5月21日（日） 13時30分～15時

講師 小林秀樹（亀山市歴史博物館館長）

会場 亀山市歴史博物館 講義室

定員 20人

申込期間 5月1日（月） 9時から5月19日（金） 17時まで

ただし、定員になりましたら受付を締め切らせていただきます

申込方法 電話または亀山市歴史博物館受付に直接お申し込み下さい

電話 0595-83-3000

住所 三重県亀山市若山町7-30